



## 医療イノベーション5か年戦略の着実な推進

### 2. 重点領域の創薬研究開発等の推進

139億円

8つの重点領域	概要	要望額
①がん	難治性がんや小児がんを含む希少がん等を中心に、革新的な治療薬や診断薬等に関する、質の高い非臨床試験や医師主導治験等を推進し、適応拡大を含めた実用化を目指す。	60.3億円
②難病・希少疾病	難病・希少疾病に対する革新的な診断・治療法の研究を推進し、医療への実用化を目指す。また、適切な遺伝子検査提供体制等の構築やiPS細胞の技術を応用した難病の原因解析に取り組む。	29億円 (再掲)
③肝炎	B型肝炎や肝硬変に対する新規治療薬等の開発を推進し、実用化を目指す。また肝炎研究の中核施設による先進的な臨床研究を行うことのできる体制を整備する。	32億円
④感染症	新興・再興感染症等に対する次世代ワクチンの開発等、実用化研究を推進する。また、HIV感染症の克服に向け、エイズ予防ワクチンや革新的な治療薬の創薬研究を推進する。この他、NTD(顧みられない熱帯病)等の開発途上国向け医薬品の開発を推進する。	15.4億円
⑤糖尿病 ⑥脳心血管系疾患	合併症発症予防のため、多くの生活習慣病の病態に共通して慢性炎症が関与している点に着目し、慢性炎症や線維化に対する新たなバイオマーカーの開発や進行制御に有効な革新的治療薬開発を推進し、実用化を目指す。	7.4億円
⑦精神・神経疾患	発症前の認知症患者、パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症(ALS)等の神経変性難病、うつ病等の気分障害患者に対する客観的診断方法や画期的治療法の開発研究を推進する。	7億円 (再掲)
⑧小児疾患	小児の先天性疾患による、障害の予防と予後の改善を図るために、遺伝子・細胞治療の基盤整備や母子感染の実態把握及び診断治療法の開発を推進する。	3億円